

報道関係者 各位

令和6年2月19日
宗像市 ふるさと寄附推進課



450年前に鐘崎海女が移住した「海士町」を支援 石川県輪島市ふるさと納税の代理寄附受付を開始

令和6年1月1日に発生した能登半島地震により甚大な被害を受け、今も災害対応に追われている「石川県輪島市」の復興を支援するため、宗像市ではふるさと納税の代理寄附の受付を開始しました。

宗像市鐘崎は、「日本海沿岸の海女発祥の地」と呼ばれています。優れた潜水技術を持っていた鐘崎の人々は、良い漁場を求めて日本海側各地に出稼ぎに行くようになり、やがて、その地に定住する人が現れました。約450年前には能登半島にも訪れており、石川県輪島市の海士町(あままち)は、その東端の地と言われています。

この度の震災で、鐘崎の漁業者は、自分たちと同じルーツを持つ海士町の被害を聞き及び、義援金の募集を始めました。この支援の輪を広げるべく、宗像市は海士町のある石川県輪島市のふるさと納税の代理寄附受付を始めました。皆様からの温かいご支援をよろしくお願いします。

■受付サイト

ふるさとチョイス災害支援

<https://www.furusato-tax.jp/saigai/detail/1878>



■受付期間

令和6年2月9日(金)から令和6年3月31日(日)まで

※代理寄附とは

被災していない自治体が被災自治体の代わりに寄附を受け付ける仕組みです。この仕組みにより、被災自治体は寄附金受領証明書発行等の業務負担を大幅に減らし、優先度の高い災害対応に注力できるようになります。

【問い合わせ先】

宗像市ふるさと寄附推進課 吉永 TEL:0940-36-9852